

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-226-2560(文化政策課)

年度	令和4年度
組織名(部)	文化スポーツ部
組織名(準部・課・機関名)	文化政策課
組織の目的	市民が心豊かに生活していけるよう、市民の文化芸術活動を引き続き振興するとともに、人材の育成に取り組みます。 また、文化芸術が持つ多様な価値が、さまざまな分野に役立てられるよう、ビジョンづくりや他分野活用に向けた仕組みづくりに取り組みます。

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織 目 標	組織目標	主な取組(事業)	指標						補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			
1		市民が心豊かに生活していけるよう、より多くの市民が文化芸術に親しむ機会を提供します。また、次代を担う子どもたちについては、文化芸術による豊かな感性や創造力の育成に取り組みます。	創作・発表の機会を提供する ・にいがた市民文学 ・新潟市美術展 ・にいがたマンガ大賞	・応募作品数(点)	1,389	1460	1,403	1,470	1,463	・にいがた市民文学 605(R3実績値) ・新潟市美術展 587(R3実績) ・にいがたマンガ大賞 275(直近3年平均) 3事業合計1,467	[[にいがた市民文学] 703点 ・中学校や高校にプロモーションをかけた結果、18歳以下の青春の部の応募数が飛躍的に伸び、前年度実績を大きく上回りました。  [新潟市美術展] 513点 ・応募数は近年減少傾向にあり、今年度は特に書道部門の減少が大きく、前年度実績を下回りました。  [[にいがたマンガ大賞] 247点 ・応募数は目標に届きませんでしたが、SNS等を活用した周知に注力したことで、前年度実績を上回りました。	一部未達成
			子どもたちの豊かな感性や創造力を育むため、質の高いクラシック音楽を体験する機会を提供する	・オーケストラはキミのともたち参加者数(人)	1,800	1,485	2,865	2,870	2,376	・コンサート当日参加者数(R3実績を踏まえた目標値) ・コロナの影響で2年間休止した、プロの演奏家による学校訪問(音楽アウトリーチ)を実施し、コンサートの誘客につなげる	・コンサートについては、新型コロナウイルス感染拡大の時期と重なったこともあり、目標に届きませんでした。2,000人を超える参加があり、来場者アンケートでも高い評価を得ることができました。 ・学校訪問については、20校で実施し、コンサートに参加しない子どもたちにも質の高いクラシック音楽の体験機会を提供しました。	未達成
2		文化芸術が持つ多様な価値が、さまざまな分野に役立てられるよう、今後の本市の文化施策を体系化していくとともに、他分野への活用に取り組みます。	本市の文化施策の方向性を、市民や文化関係者と広く共有するため、分かりやすい次期ビジョンの策定を進める。今年度は、文化芸術に関する現状を把握するためアンケートなどを実施しながら、素案作成を行う	・市民アンケート ・文化芸術団体へのヒアリング ・大学生のワークショップ				実施	実施	調査の目的を明確にし、適切な手法により実施する ・市民アンケート:幅広い基礎資料の収集 ・文化芸術団体へのヒアリング:活動現場の現状と課題の深堀り ・大学生のワークショップ:将来世代の視点を取り入れる	・次期ビジョンの素案作成に向け、市民アンケート及び大学生ワークショップにより、市民の文化に関する意識の現状や将来世代の意向の把握を行いました。 ・なお、文化芸術団体への直接のヒアリングについては、対象が市と協働している団体が多く、現状と課題は市の事業担当者を通じて把握できることから、事業担当者へのヒアリングで代替しました。	達成
			「マンガ・アニメのまちにいがた」をアピールし、交流人口の拡大に寄与するため、アニメマンガの祭典を実施する	・がたふえす来場者数(人)	中止	9,300	中止	19,000	3,800	・R2実績の約2日分(R2は一日開催) ・今年度は新たに、起業や雇用創出につながる取り組みのほか、ファミリー層の誘客につながる取り組みを実施する	・国の補助金が採択されず、予算が減額となったことや一部事業の中止があったことで、規模を縮小して実施しました。 ・来場者数については、開催日数を1日に減らしたこともあり、目標に届きませんでしたが、マンガ・アニメの「楽しさ」だけでなく、「学ぶ」(教育)や「知る・働く」(産業)といった観点からの取り組みを加え、マンガ・アニメの持つ魅力や可能性を幅広い層に発信しました。	未達成
			文化芸術を通じ包摂社会を実現するため、地域アーティスト等との交流を生み出す仕組みづくりに取り組む	・障がい者と地域アーティスト等とのマッチングトライアル数				2	2	・今年度は文化芸術団体と障がい者施設のマッチングの仕組みづくりに取り組み、2件のトライアルを実施しました。 ・両者からは、交流機会を得られたことに好評価をいただいた一方で、今後市が間に入らずにマッチングを成立させる上では、会場の問題など、さまざまな課題があることが分かりました。 ・次年度も引き続き、トライアルを通じて、効果や課題などを検証し、自主的な交流に向けたスキームづくりに取り組んでいきます。	・今年度は文化芸術団体と障がい者施設のマッチングの仕組みづくりに取り組み、2件のトライアルを実施しました。 ・両者からは、交流機会を得られたことに好評価をいただいた一方で、今後市が間に入らずにマッチングを成立させる上では、会場の問題など、さまざまな課題があることが分かりました。 ・次年度も引き続き、トライアルを通じて、効果や課題などを検証し、自主的な交流に向けたスキームづくりに取り組んでいきます。	達成
東アジア文化都市である中国の青島市・韓国の清州市の高校生等とのオンラインによる文化を通じた国際交流の機会を提供する	・青少年交流参加者の満足度の平均値		4.9		5	4.7	4.9	・交流相手都市と当日のプログラムや進め方などを協議し、参加者から高い満足度を得られるよう、改善に取り組む  <参考>参加者アンケート 「満足(5点)」、「やや満足(4点)」、「どちらでもない(3点)」、「やや不満(2点)」、「不満(1点)」	・オンラインによる青少年交流を計5回実施し、参加者からは目標を上回る高い満足度を得ることができました。 ・文化交流を通して、それぞれの相互理解はもとより、自市の文化を学び、再認識する場にもなりました。	達成		

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>コロナ禍において多くの市民が長期間行動制約を余儀なくされた経験は、文化芸術が人々の心を癒し、明日への希望を与える必要不可欠なものとして、再認識される機会となりました。そのことから、より多くの市民が文化芸術に親しむことができるよう、感染症対策の周知・徹底を図りながら、場と機会の確保に取り組めます。特に、次代を担う子どもたちについては、文化芸術の鑑賞・体験機会を提供し、豊かな感性や創造力の育成にも取り組めます。</p> <p>市民の意識や社会情勢が目まぐるしく変化し、複雑化する中で、分野横断的な社会課題の解決手法に文化芸術が持つ価値を幅広く活用していけるよう、今後の本市の文化施策を体系化していくとともに、各種トライアルに取り組みながら、他分野への活用に向けた仕組みづくりの検討を進めます。</p>	<p>文化芸術に親しむ機会の提供で、公募事業の応募数は減少傾向にありますが、事業周知の方法や出展意欲を喚起する部門の創設の検討などを通じて、さらなるすそ野の拡大を目指します。</p> <p>次代を担う子どもたちの育成では、好評だった「オーケストラはキミのともたち」を引き続き実施するとともに、次年度は学校訪問の回数を大幅に増やすなど、子どもたちの鑑賞・体験機会の充実を図っていきます。</p> <p>文化芸術の特性がさまざまな分野に役立てられるよう、来年度に策定する次期ビジョンに位置付けるとともに、引き続き各種トライアルを通じて効果や課題などを検証し、新たな仕組みづくりに目指していきます。</p>

# 組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-223-1622

年度	令和4年度		
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	新潟市美術館
組織の目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与します。		

作成日	R4.4.11
修正日	
評価日	R5.3.31

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		展覧会やイベントの充実、ショップ設置などで魅力を高め、利用者を増やし、来館者満足度の向上を目指します。	・企画展、コレクション展、各種講座などの開催 ・ミュージアムショップ・カフェとの連携	・入館者数(人)	59,273	57,787	56,686	56,000	49,489	・入館者数はエントランスのカウント数 ・開館日数 H30 262日間 R1 260日間 R2 250日間 R3 230日間 R4 228日間	新型コロナウイルス感染拡大や大雪などの影響もあり、目標に達することができませんでした。絵本原画展は好評でしたが、他の企画展は目標を下回りました。	未達成
			・来館者アンケート(企画展・コレクション展)	・アンケート満足度(点)	4.36	4.46	4.67	4.4	4.57	・来館者アンケート平均点(5点満点) R4 R3目標と同数値	絵本原画展、リアルのゆくえ展で、高い満足度をいただき、全体でも目標を上回る評価となりました。	達成
2		学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	・「アートリップ」や子どもスタンプカードの実施 ・美術講座、実技講座等の開催	・学校連携事業や教育普及事業等の実施回数(回)	60	55	37	37	44	・R3年度実績と同数値	アートリップは6校で実施しました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、学校連携事業や各種講座で、中止・延期となったものもありましたが、目標は達成しました。	達成
3		新規来館者数を増やし、リピーターを獲得するための仕組みづくりや、運営の工夫で収益の向上を目指します。	・新津美術館との相互利用の促進 ・西大畑旭町文化施設協議会との連携 ・SNSなどの活用	・あっちも割利用観覧者数(新津美術館の企画展観覧券半券提示により、市美術館の企画展を団体料金で観覧した人の数)				180	564	・令和4年度新規事業	新潟市美術館の企画展と新津美術館の企画展の時期や内容、組合せ等により、利用人数が大きく異なりますが、全体では大幅に目標を超えました。	達成
4		職員等に職場研修を行うとともに、館外研修に職員等を積極的に派遣し、資質向上を図ります。	・コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など ・財務・文書管理・IT研修など ・専門研修への派遣(学芸員)	・研修受講者数(延)	49	23	25	25	26	・職員や看視員等対象の研修受講者数(避難誘導訓練除く)	一部でWEB研修や中止となった研修もありましたが、コロナ対策を行いながら受講を進め、目標を達成しました。	達成

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新潟市美術館の運営方針に沿った取組みを展開します。 「運営方針」 政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館を目指します。 1 あるもの(館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境)を活かし、新たな知を掘り起こす「発見する美術館」 2 教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が「学べる美術館」 3 さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る「生きている美術館」 4 市民同士、地域の文化施設相互が「つながる美術館」 5 高い質を保ち、市民が誇れる「信頼の美術館」</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大や大雪の影響なども受け、入館者数は昨年度に比べ減少しました。企画展については、上半期は比較的観覧者数も順調に推移しましたが、下半期になると大雪や寒さの影響もあり、観覧者数が伸び悩みました。 来館者からは、「とても良かった」「楽しかった」「感動」「感激」「至福の時間」「大好き」「新津美術館との割引もお得に美術に触れることができありがたい」「自然や地域と一体感のある美術館だ」などの感想とともに、高評価をいただいております。引き続き新津美術館と連携しながら、幅広い種類の魅力的な展覧会の開催に努めていきます。 また、各種講座や学校との連携事業(アートリップ)等を実施するなど、より一層の市民等の美術に関する知識と教養の向上にも力を入れていきます。</p>

# 組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 0250-25-1300

年度	令和4年度		
組織名(部)	文化スポーツ課	組織名(準部・課・機関名)	新津美術館
組織の目的	市民の芸術に関する知識及び教養の向上並びに芸術文化の交流の推進に寄与します。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.4.23

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		展覧会や関連催事の充実を図り、優れた芸術に触れる機会を提供することにより、多くの市民から親しまれる美術館になることを目指します。	企画展、その他の展覧会、ミュージアムコンサート	美術館入館者数(人)	103,940	127,023	97,585	120,000	118,501	本年度企画展を考慮した目標値を設定	目標の達成率は98.75%	未達成
2		学校や地域等と連携し、子どもを含む市民が美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	美術講座、ミュージアムコンサート、出前美術館、職場体験の受入等	普及事業の実施回数(回数)	23	19	32	30	36	持続可能な目標値を設定	着実な事業の進捗につとめ、目標を上回る回数を達成した。	達成
3		報道機関との協働により、お互いのノウハウを生かした魅力ある展覧会を開催し、収益を意識した運営を行います。	令和4年度企画展(実行委員会方式) ・ミニチュアライフ展2 ・山形美術館所蔵 長谷川コレクション展 ・田島征三展 ・黒井健展	実行委員会方式の企画展における決算の収支比率(%)	139%	168%	148%	130%	201%	本年度企画展予算(歳入22,500千円/歳出19,500千円)に基づく目標値	・ミニチュアライフ展2 378% ・山形美術館所蔵 長谷川コレクション展 69% ・田島征三展 53% ・黒井健展 133% ・R4年度計 201%	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新潟市新津美術館の運営方針に沿った取り組みを展開します。 「運営方針」 市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館を目指します。 1 美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育む「何かが見つかる美術館」 2 美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践する「明日へ向かう美術館」 3 他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを実践する「みんなと歩む美術館」</p>	<p>入館者数は、春季のミニチュアライフ展の大量動員(開館以来の最高を記録)で年間目標の6割近くに達しましたが、夏季は新型コロナウイルス感染拡大と猛暑の影響もあって伸び悩みました。秋季の黒井健展は健闘したものの、終盤で大雪に見舞われたことも響いて、目標にはあと一歩届きませんでした(達成率は98.75%)。 また、小中学校に作家を派遣する出前美術館の実施など、学校との連携を図りながら、次世代への普及活動に努めました。今後も、これまでの実績を踏まえた特徴的な展覧会に加え、調査・研究や情報収集を基にした新潟市の美術館としてふさわしい展覧会を企画していきます。 広報面では、ホームページやフェイスブック、ツイッター、インスタグラムを活用した活動を充実させ、事業を広くアピールしていきます。 なお、実行委員会方式の展覧会4本の収支比率は、目標を大きく上回る平均201%となりました。マスコミ各社との信頼関係は美術館経営上の重要事項であり、引き続きその構築と維持につとめてまいります。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号)	025-226-2572
------------	--------------

年度	令和4年度		
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	歴史文化課
組織の目的	新潟地域の歴史・文化を物語る貴重な文化財を大切に保存し、次代へ着実に継承します。また、これらを積極的に公開し、活用を図ることで、市民にまちに対する誇りや郷土愛を深めてもらうとともに、歴史あるまちとしての魅力を広く発信します。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.5.8

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標							目標達成状況	評価
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果	補足・参考指標		
1	3	新潟市の歴史・文化の特性を物語る文化財を着実に次代へ継承できるよう、関係者と連携・協議しながら計画的に保存に向けた整備や調査を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業</li> <li>旧笹川家住宅保存整備事業</li> <li>文化財保護調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業の実施</li> <li>旧笹川家住宅保存整備事業の実施</li> <li>文化財保護調査件数(件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の市指定に向けた調査等50件</li> <li>国指定文化財の保存整備事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の市指定に向けた調査等57件</li> <li>旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業の実施(庭園・建物の実施設計、斜面修復工事ほか)</li> <li>旧笹川家住宅保存整備事業の実施(事前協議ほか)</li> <li>文化財の調査等64件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業の実施(庭園・建物の実施設計、四阿工事ほか)</li> <li>旧笹川家住宅保存整備事業の実施(整備基本計画作成1年目)</li> <li>文化財の調査等60件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧齋藤氏別邸庭園保存整備事業の実施(庭園・建物の実施設計、灯籠修繕工事ほか)</li> <li>旧笹川家住宅保存整備事業の実施(整備基本計画作成1年目)</li> <li>文化財の調査等62件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県営ほ場整備ほか、公共事業・民間事業は随時協議対応する。</li> </ul>	<p>市内の文化財に関する基礎調査を引き続き実施し、目標を達成するなど現状把握等に努めたほか、旧齋藤氏別邸庭園の実施設計及び灯籠修復等の一部庭園工事や、旧笹川家住宅の整備基本計画原案作成など、国指定文化財の保存整備に努めました。</p> <p>なお、令和4年度予定の四阿工事及び境界塀更新工事は令和5年度に繰り越すこととなりました。</p>	達成	
2		国民共有の財産である埋蔵文化財が適切に保護されるよう、各種開発事業に則した保護協議を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>試掘・確認調査(開発事業)</li> <li>試掘・確認調査(ほ場整備)</li> <li>保護協議</li> <li>地元説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県営ほ場整備に伴う試掘・確認調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県要望4地区計300ha分、全て対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県要望4地区計302ha分、全て対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県要望5地区計265ha地区要望達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県要望5地区計280ha</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県要望5地区計250ha地区要望達成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほ場整備ほか、公共事業・民間事業は随時協議対応する。</li> </ul>	<p>ほ場整備に係る試掘調査について、県要望の5地区については国庫補助額の範囲内で全て調査を実施しました。</p>	達成
3		地域に根差した文化資源を活用し、歴史あるまちとしての魅力を市内外に発信するため、各種展示、講座等の実施により、交流人口の拡大を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館</li> <li>「にいがたの中世」展、「大河津分水・関屋分水と新潟市」展、むかしのおらし展、各種講座等</li> <li>旧小澤家住宅</li> <li>写真展「新潟まつり」、新潟仏壇展、ひな人形とからくり人形展、各種講座等</li> <li>新津鉄道資料館</li> <li>企画展「新潟を変えた新幹線(仮)」、鉄道模型走行会、485系電車運転席など実車の公開、ミニSLの運行等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者数(人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館 91,999</li> <li>旧小澤家住宅 15,603</li> <li>新津鉄道資料館 61,859</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館 61,151</li> <li>旧小澤家住宅 11,544</li> <li>新津鉄道資料館 34,445</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館 63,162</li> <li>旧小澤家住宅 10,896</li> <li>新津鉄道資料館 40,791</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館 70,000</li> <li>旧小澤家住宅 12,000</li> <li>新津鉄道資料館 43,000</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館 87,097</li> <li>旧小澤家住宅 13,400</li> <li>新津鉄道資料館 43,670</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史博物館</li> <li>・平成16年3月開館 19年目</li> <li>旧小澤家住宅</li> <li>・平成23年7月開館 11年目</li> <li>新津鉄道資料館</li> <li>・平成26年7月リニューアル 9年目</li> </ul>	<p>歴史博物館及び旧小澤家住宅については、新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら企画展やイベントを実施し、目標を達成しました。</p> <p>新津鉄道資料館は、特別展「新潟を変えた新幹線」開催のほか鉄道ファンや近隣の家族連れなど一定層の来館が継続し、昨年を上回りました。</p>	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>国名勝「旧齋藤氏別邸庭園(旧齋藤家別邸)」の保存整備を行うとともに、国重要文化財「旧笹川家住宅」の整備工事に向けた関係機関協議等を進めるなど、指定文化財の保存に努めるほか、市内文化財(指定・未指定を問わず)に関する基礎調査を継続し、国県市指定及び国登録文化財候補の抽出を進めます。</p> <p>埋蔵文化財の保護のため、開発事業(県営ほ場整備等)に伴う試掘・確認調査を事業者や地元農家等の関係者の理解を得ながら適切に実施します。遺跡該当の場合は文化財保護法に則した協議を行い、保護が適切に図られるようにします。</p> <p>歴史博物館では「にいがたの中世」や「大河津分水・関屋分水と新潟市」等の企画展の実施や各種講座を開催するほか、旧小澤家住宅では写真展「新潟まつり」等の企画展や各種講座を開催するなど、本市のみならず地域の歴史や文化の魅力を発信します。また、新津鉄道資料館では、鉄道関連の企画展や地元商店街や鉄道愛好家団体と連携・協働したイベントを引き続き開催し、本市の歴史文化を広く発信し、県内外からの交流人口拡大を目指します。</p>	<p>文化財保護に関しては、市内各地の文化財調査を通して現状を把握し、区担当課と連携しながら適切に保存対策等を行いました。また、旧笹川家住宅の整備基本計画原案作成や、旧齋藤氏別邸庭園の一部庭園整備を実施するなど、文化財保護のための整備に努めました。また、鳥屋野逆タケの数の指定100周年イベントの開催や旧第四銀行住吉町支店の短期貸付の取り組みのほか、古民家や日本料理店舗などの登録有形文化財への指定や市民による鑑の展示への支援を行うなど、文化財の公開と活用を図りました。</p> <p>埋蔵文化財の保護に関しては、開発事業(県営ほ場整備等)に伴う試掘・確認調査を事業者や地元農家等の関係者の理解を得ながら適切に実施しました。また、ほ場整備に係る試掘・確認調査にあたっては、遺跡の有無や範囲を正確に把握し、整備計画と遺跡の関係を明らかにした地区ごとの重合図を作成し、県市共通の協議資料とするなど県と情報共有・連携しながら事業を進めました。</p> <p>歴史博物館では、新潟に残る史資料を中心に中世史をたどる「にいがたの中世」展や、大河津分水通水100周年、関屋分水通水50周年を記念した「大河津分水・関屋分水」展などを開催したほか、旧小澤家住宅では、コロナ禍の新しい生活様式にあわせた個性ある各種催事の開催や、みなどまちの歴史・生活文化に関する企画展を開催するなど、本市の歴史や特色について理解を深めていただくとともに、みなどまちとしての新潟の魅力を発信しました。</p> <p>また、新津鉄道資料館では、鉄道関連の特別展や地元商店街等・鉄道愛好家団体と連携・協働したイベント開催を通じ、市内外に新潟・新津の鉄道文化を発信することにより、交流人口の拡大に努めました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-378-0480

年度	令和4年度
組織名(部)	文化スポーツ部
組織名(準部・課・機関名)	歴史文化課 文化財センター
組織の目的	埋蔵文化財及び有形民俗文化財を適切に保存し、活用を図っていきます。併せて、文化財に対して広く関心・理解を深めてもらえるように、分かりやすく情報を発信をしていく施設にします。

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.5.10

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3結果	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		開発に対応した本発掘調査・整理作業及び報告書刊行を実施し、調査を着実に完了します。報告書刊行資料について台帳を作成して収蔵保管するとともに、調査研究を行い、展示・公開等の活用を努めます。	・効率的な本発掘調査・史跡古津八幡山遺跡確認調査・整理作業の実施 ・発掘調査報告書刊行 ・文化財センター年報の刊行 ・文化財センター年報の刊行 ・上記考古資料の台帳作成及び収蔵保管	・発掘調査報告書刊行(冊) ・文化財センター年報の刊行(冊) ・本発掘調査・史跡古津八幡山遺跡確認調査の確実な実施(件)	4 1 3	2 1 6	3 1 3	4 1 3	3 1 3	(報告書刊行:曾我墓所遺跡・程島館跡・原遺跡・平遺跡) ・文化財センター年報刊行 ・茶院A遺跡・寺裏遺跡本発掘調査・史跡古津八幡山遺跡確認調査の確実な実施	計画した本発掘調査を3件着実に実施し、調査報告書を3冊と文化財センター年報を刊行しました。曾我墓所遺跡については、発掘成果が全国的にも類例のない貴重なものであったことから慎重に作業を行い、年度内に内容をまとめることができ、ほぼ目標を達成しました(印刷製本は令和5年度に実施)。また、調査により発掘された考古資料の台帳作成、収蔵保存を着実に実施しました。	達成
2		文化財センターで多様なテーマの企画展や講演会、現地説明会等を開催するほか、学校や地域に向いて講座等を開催して、文化財に対し関心・理解を深めていただくよう努めます。	・企画展および関連講演会の開催 ・文化財センター外で行う各種講座等 ・遺跡発掘調査現地説明会 ・遺跡発掘調査速報会 ・各種出前講座	・文化財センター入館者(人) ・遺跡発掘調査現地説明会(人) ・遺跡発掘調査速報会(人) ・各種出前講座(人)	9,577 234(3遺跡) 147	5,691 859※(4遺跡) 205 127 78	7,469 322 175 97 78	8,000 300 120	6,666 256 120	コロナ禍の影響が残るが、従来の広報活動に加え、HPでの企画展のPRや学校・公民館への出前講座において来場を呼び掛ける。 ・茶院A遺跡(目標120人) ・寺裏遺跡(目標60人) ・古津八幡山遺跡(目標120人) ※R2年度は特殊要因あり 来場者 165 来場者 95 オンライン:70(目標設定時オンライン配信予定なし)	発掘調査現地説明会や遺跡発掘調査速報会、小学校等への出前講座について、ほぼ計画通りに実施しました。特に発掘調査速報会では今回もオンライン配信をすることにより、県外から来県せずに参加いただくことができ、各事業の参加者から文化財に対し関心・理解を深めていただくことができました。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響が残ったことにより、入館者数などで目標人数に届かない項目がありました。	一部未達成
3		国史跡古津八幡山遺跡の認知度を高めるために各種イベントを開催するとともに、企画展や講演会等を開催し、史跡の理解を深めることに努めます。	各種イベントを行い古津八幡山遺跡を広く知っていただくとともに、関連する企画展や講演会等を行い史跡の理解を深めるための調査研究を行います。	史跡古津八幡山弥生の丘展示館入館者(人) ・企画展(回) ・企画展関連講演会・講座(回) ・企画展展示解説(回) ・確認調査現地説明会(回) ・各種募集イベント(回)	49,426 26	29,087 20※	26,682 20	33,000 17	27,872 17	コロナ禍の影響が残るが、従来の広報活動に加え、周辺施設との連携を図るなど工夫を凝らす。 ・企画展(2回) ・企画展関連講演会・講座(2回) ・企画展展示解説(3回) ・確認調査現地説明会(1回) ・各種募集イベント(9回) ※コロナ禍の影響等により、R3年度は大型イベントの中止あり	今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が残ったため、入館者が目標を下回ったものの、計画した企画展、講演会等の各種イベントを全て開催し、参加者から古津八幡山遺跡についての理解を深めてもらいました。	一部未達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
文化財センターは、国史跡古津八幡山遺跡・弥生の丘展示館と共に、埋蔵文化財及び有形民俗文化財を保存し、活用を図ることにより、文化財に対して市民の関心・理解を深めてもらえるよう、広く市民に文化財に関する情報を発信していきます。埋蔵文化財については、発掘調査報告書を刊行します。さらに考古資料の再整理・台帳整備を行い、資料の適切な保存管理に努めます。また、有形民俗文化財についても台帳整備を進め、確実な保存管理を行うとともに、学校の社会科学習等での活用を努めます。埋蔵文化財等に関する調査・研究を行い、成果をご覧いただけるよう2回の企画展を開催します。同時に、市民ボランティアとの協力・連携を図り、展示解説など市民からの要望に対応できる施設運営を目指すとともに、学校や公民館への出前講座や市政さわやかトーク宅配便の利用促進に取り組めます。弥生の丘展示館では国史跡古津八幡山遺跡の理解を深めるための調査研究を行うとともに、2本の企画展をはじめ各種イベントを開催し、国史跡の認知度を高めるように努めます。また、北東域の史跡指定地外の確認調査を実施して、昨年見つけた方形周溝墓やその周辺の内容把握を行い、史跡を適切に保存するとともに調査成果を広く発信します。毀損した復元竪穴住居4棟について修繕を行い、工事のようすを一般公開します。	令和4年度は、目標とした遺跡の発掘調査や調査研究、考古資料の収蔵保存、また、新潟市文化財センター及び古津八幡山遺跡歴史の広場における文化財等の活用事業について、ほぼ計画通り実施し、市民のみなさんから文化財に対し関心・理解を深めていただくことができました。しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、特に、館の利用者の大きな割合を占める小学生と保護者への流行が多かったことにより、各施設の入館者数や学校関係の事業参加数が減ったことで、一部の項目で目標値を下回ってしまいました。新潟市文化財センターでは、今後とも市内における貴重な遺跡の発掘調査、研究を確実に行うとともに、その成果を活用し市民のみなさんから文化財に対して広く関心・理解を深めてもらえるように、わかりやすく情報を発信していきます。また、初めて新津美術館と共催して企画展を開催しましたが、今後も他施設とのさらなる連携に取り組んでいきます。古津八幡山遺跡歴史の広場では、毀損した復元竪穴住居4棟の修繕工事を実施し、途中、一般公開も行いました。今後も史跡を適切に保存していくとともに、市民のみなさんから学習や憩いの場として利活用頂くために、広場の維持・管理を図っていきます。

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-278-3260

年度	令和4年度		
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	歴史文化課 文書館
組織の目的	新潟市公文書管理条例の趣旨にのっとり、特定歴史公文書を適切に保存し、市民等の利用に供するとともに、本市の歴史を検証し、歴史に関する情報を発信します。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.5.8

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		文書館で保存する歴史公文書等を市民共有の知的資源として、適切に保存・利用提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定歴史公文書等の利用提供事業</li> <li>・保存年限が満了した行政文書の保存</li> <li>・地域資料の所在確認</li> </ul>	利用提供数(件)			64 ※R4/1/8 ~R4/3/31	250	221	歴史資料整備担当時 R2 閲覧件数 137件 R1 閲覧件数 200件	特定歴史公文書等の利用提供数は目標を僅かに下回ったものの、利用申請に対し審査を滞りなく実施し、適切に利用提供を行いました。 保存期間が満了した行政文書の選別・保存に関しては、総務部総務課と連携しながら、公文書管理条例の経過措置に基づき従前の例により、着実に実施しました。 民間宅等への訪問調査は、目標件数を上回る調査を行い、寄贈へ繋げるなど資料の保存に努めました。	一部未達成
				保存期間が満了した行政文書の選別・保存				着実に実施	着実に実施 (総務部総務課と連携し56点を選別・保存)	公文書管理条例の経過措置に基づく従前の例(文書規程に基づく)による選別・保存 R3 122点 R2 128点 R1 300点		
				民間宅等への訪問調査			5	5	8	歴史資料整備担当時 R2 5件 R1 3件		
2		本市の歴史や歴史に関する資料等に興味を持ってもらえるよう、歴史講座の開催や文書館が所蔵する資料展示により情報を発信します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の歴史に関する講座の開催</li> <li>・資料の企画展示の開催</li> </ul>	歴史講座等の開催回数	9	2	3	10	12	※R2、R3は新型コロナウイルス、文書館開館準備作業の影響あり	歴史講座の開催は、市内会場及び文書館講座室を会場にした講座を予定通り実施したほか、外部からの依頼による講座にも対応するなど目標を上回りました。 企画展示に関しては、新潟市の歴史に関する情報発信の一つとして予定通り実施できました。	達成
				企画展示の開催回数(回)				1	1			

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
新潟市公文書管理条例に基づき、特定歴史公文書(保存期間が満了した行政文書や民間から寄贈を受けた文書など)を文書館の収蔵庫等で適切に保存するとともに、市民等の申請に応じて利用の決定等を滞りなく行います。利用決定後は、文書館の閲覧室での閲覧や、複写物の提供を適切に行います。 特定歴史公文書の保存にあたっては、保存期間が満了した行政文書の着実な選別作業の実施のほか、民間宅への調査などによる地域の資料の収集に努めます。 また、これまで市内の会場において開催していた歴史講座の開催や「さわやかトーク宅配便」等による講座の実施に加え、文書館講座室での講座の開催のほか、資料公開室での資料の企画展示等を行うことにより、本市の歴史に関する情報を発信していきます。	令和4年度は、一年間通しての館運営が初めてとなり、特定歴史公文書の保存・利用提供をはじめとした基本業務を適正に行いながら、文書館の意義・役割を広く知ってもらうよう情報発信に努めました。 特定歴史公文書の保存・利用提供にあたっては、公文書管理条例に基づき、利用の申請に対し滞りなく利用審査を実施し、適切に利用提供を行ったほか、保存期間が満了した行政文書については総務部と連携しながら選別・保存業務を行うとともに、市民等が所有する資料について訪問により調査を行い寄贈に繋げるなど、市民共有の知的資源としての保存に努めました。 また、新潟市の歴史に関する講座を市内会場のほか、令和4年度からは文書館講座室も会場として開催し、内容も子ども向けのものを初めて開催するなど、幅広い世代の方に文書館を知ってもらうとともに、新潟市の歴史資料に興味を持ってもらえるよう実施しました。所蔵資料については、文書館での企画展「萬代橋三代の歩み」を開催し展示したほか、「文書館だより」を発行し紹介するなど、情報発信に努めました。 今後も引き続き、子ども向け歴史講座の開催をはじめ、文書館の役割を学校等により周知していくなど、幅広い世代の方に文書館を活用してもらえるよう館の事業を行っていきます。

# 組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-226-2588

年度	令和4年度		
組織名(部)	文化スポーツ部	組織名(準部・課・機関名)	スポーツ振興課
組織の目的	市民が心身ともに健やかに暮らしていけるよう、スポーツの振興を図るとともに、スポーツの持つ多様な価値を他分野とつなぎ合わせ、社会課題の解決手法に活用していきます。		

作成日	R4.4.1
修正日	
評価日	R5.5.15

No.	部区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標			R4結果	補足・参考指標
1		より多くの市民がスポーツ活動に親しむ機会を提供するとともに、人材育成に取り組んでいます。	・スポーツ施設の利用促進 ・各区所管課、指定管理者や関係機関と情報交換・連携	市内の体育施設利用者数(人)	3,850,028	2,278,600	2,591,018 (見込み)	前年以上	3,002,579	・スポーツイベントの開催・支援	依然として新型コロナ前の水準には戻っていませんが、年々利用者数は増えてきており、目標を上回る事ができました。	達成
2	2	より多くの市民がスポーツ活動に親しむ機会を提供するとともに、人材育成に取り組んでいます。また、スポーツの持つ多様な価値を多面的に活用することで、本市の魅力発信や共生社会の実現を図ります。	・4年ぶりの開催となる新潟シティマラソンの円滑な実施 ・新種目「ユニバーサルラン(仮称)」の実施 ・新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の徹底	大会評価点数(点)		- (アンケートによる評価: 85.0%)	(アンケートによる評価: 87.7%)	70.0	71.5	・ランニングポータルサイト「RUNNET」における参加ランナーからの大会評価 ・R2、R3実績は代替イベント実施アンケートによる評価(「非常に良かった/良かった」の割合)	・4年ぶりとなるマラソン、ファンランに加え、新種目「ユニバーサルラン」を事故なく実施した。 ・参加者、スタッフ等への体調・行動管理チェックシートの導入、補給食の個包装化など、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して開催した。 ・参加者からは、笹団子やこしひかりなど新潟らしいエイド食(給水所での補給食)や市民ボランティアの対応など好評をいただいた。	達成
3		スポーツの持つ多様な価値を多面的に活用することで、本市の魅力発信や共生社会の実現を図ります。	・文化・スポーツコミッションと連携し、国内競技団体等へのPR・働きかけによるナショナルチームをはじめとしたトップチームの合宿、大規模大会の誘致及びこれらの誘致に向けた視察の受入れを行う	ナショナルチームをはじめとしたトップチームの合宿実施数、大規模大会実施数、視察受入れ数(件)	4	4	11	5	7	・コロナウイルス感染拡大の収束状況を注視し、ナショナルチームをはじめとしたトップチームの合宿、大規模大会の誘致及び視察の受入れを行う。 ・R3実績は夏季・冬季オリンピック競技大会関連の6件を含む。	・新型コロナウイルス感染症対策を講じながらFID/バスケットボール男女日本代表の合宿や、全日本中学生カーリング選手権大会を誘致、実施した。	達成
4												
5												

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>新型コロナウイルス感染症の影響等を注視しながら、スポーツの機会の充実を図るため、スポーツイベントの開催・支援によるスポーツ施設の利用促進や、各区所管課、指定管理者や関係機関との情報交換・連携を進めます。</p> <p>4年ぶりの開催となる新潟シティマラソンは、ウィズコロナ・ポストコロナにおける安心・安全で魅力のある持続可能な大会となるよう取り組みます。また、障がいの有無や年齢を問わず参加できる新種目「ユニバーサルラン(仮称)」を実施することで、より多くの市民のニーズに対応し、参加者の満足度向上を図ります。</p> <p>ナショナルチームをはじめとしたトップチームの合宿等については、文化・スポーツコミッションや観光・国際交流部と連携し、各々が持っているネットワークを最大限活用し、各種競技団体と協力しながら誘致を進めます。</p>	<p>スポーツ施設において適切なコロナ対策を実施し、安心に利用できる環境を整えました。令和4年度は施設の休館なく運営することができ、前年よりスポーツ施設の利用者数は増加しました。</p> <p>4年ぶりとなるマラソン、ファンランに加え、新種目「ユニバーサルラン」を事故なく実施しました。開催にあたり、参加者、スタッフ等への体調・行動管理チェックシートの導入、補給食の個包装化など、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底することで、安心・安全な大会運営をすることができました。</p> <p>ナショナルチームの事前合宿等については、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、国内のナショナルチーム合宿受入れや全国大会誘致を実施することができました。今後も、文化・スポーツコミッションと連携し、合宿受入れや大規模大会等の誘致を進めていきます。</p>